

互いの個性の理解

◆学習のねらい

友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知ること、自分の良いところを積極的に知ろうとする態度を育てる。

◆評価

自分や友達の良いところを見付け、自分の良いところに気付いている。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※生活科における「自分を振り返る活動」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

- ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 小学校1・2年生版 心あかるく』
- ・「じぶんのよいところカード」
- ・「ともだちのよいところカード」

展開例

	学習活動（・児童の発言例）	○指導上の留意点
導入 10分	1 本時の学習を知る。	
	じぶんのよいところをしよう。	
展開 25分	2 自分ができるようになったことや自分を紹介することを探して、「じぶんのよいところカード」に記入する。	○ 教師が、自分の良いところとはどういうものかについて、分かりやすく例を挙げて説明する。 ○ 教師が自分の良いところを紹介する。 (例：好きなことは～です。～ができるように（上手に・得意に）になりました。～をがんばっています。)
	3 3人グループになり、自分以外の2人の良いところを「ともだちのよいところカード」に書く。 ・ そうじのときに、ほうきをゆずってくれた。 ・ 走るのが速い。 ・ たくさん本を読んでいる。	○ 友達のことが分からない児童には声を掛け、行事で頑張っていた姿や児童が気付かなかった姿を例に挙げる。 ○ 児童は友達の頑張りに気付けない場合もあるので、教師も具体的事実に基づく全員分の良いところや頑張っているところを探しておき、探せない児童に伝えながら、良いところに気付かせる。
	(1) 「ともだちのよいところカード」を書いたら、それぞれ友達に渡す。 (2) 友達から渡されたカードを読む。	
	4 友達からもらった「よいところカード」を読んで、感じたことや、友達に言われて気が付いた自分の良さについて発表する。	○ 感想の中から、友達に自分の良いところを見付けてもらってうれしかったことなどを引き出す。
まとめ 10分	5 本時の振り返りを行い、自分には、自分が知らなかった良いところがあることに気付く。 ・ 友達が、自分の良いところを見付けてくれてうれしかった。	○ 『心あかるく』の120ページ「自分のことで」、頑張ったことやうれしかったこと、できるようになったことなどを記入させる。

互いの個性の理解

◆学習のねらい

友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知り、自分の良いところを伸ばしていこうとする態度を育てる。

◆評価

自分や他者の良いところに気付き、互いに認め合いながら自分の良いところを伸ばしていくことの大切さを理解している。

◆教育課程における位置付け

特別活動

◆主な使用教材

- ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 小学校3・4年生版 心しなやかに』
- ・〔自分らしさカード〕(小学校低学年「自分のよいところカード」を参照)
- ・「○○さんらしさカード」(小学校低学年の「ともだちのよいところカード」を参照)

展開例

	学習活動（・児童の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。	○ 児童が自分らしさ、友達らしさを見付けやすくなるよう、「らしさ」とはどのような意味であるかを確認してから、教師が自分らしさを紹介する。
	自分らしさをみがこう。	
展開 30分	2 『心しなやかに』86ページの絵を見て、自分の良いところや自分の気になるところについて考え、2人組で話し合う。 ・ 元気に挨拶ができる。 ・ 忘れ物が多い。	○ 良いところや悪いところということではなく、自分の特徴がその人らしさであり、掛け替えのない自分であることを伝える。
	3 『心しなやかに』87ページを読み、「自分らしさ」について考え、「自分らしさカード」に書く。 ・ 私の自分らしさって何かな。 ・ 友達のことならすぐ分かるよ。	○ 2人組で話し合うことで、「自分らしさ」について考えやすくする。 ○ 自分の特徴について考えられない児童には、86ページの例以外の良いところについても紹介する。 ○ 話し合い後、何人か発表し、全員で共有できるようにする。
まとめ 10分	4 4人グループになり、自分以外の3人のことについてカードに書く。 (1) 友達の紹介が書けたら、その友達に裏返して渡す。 (2) 3人が書いてくれたカードを読み、自分で書いた「自分らしさカード」と比べる。	○ 自分で見付けられない児童や、迷っている児童には声を掛け、その児童の頑張っているところを伝え、自信をもって記入できるようにする。
	5 感想をまとめる。 ・ 友達が見付けてくれた新しい自分らしさを知った。 ・ 自分らしさを大切にしたい。	○ 自分らしさを大切にすることや、みんながお互いのその人らしさを認め合うことで、学級が楽しくなることに気付かせる。

板書例

自分らしさをみがこう

◎自分のよいところ

- ・元氣にあいさつできるところ。
- ・だれにでもやさしいところ。

◎自分の気になるところ

- ・わすれ物が多いところ。
- ・おこりっぽいところ。

◎自分らしさとは・・・

自分らしさをみがく

= (イコール)

自分の「よいところ」をのばしていくこと

自分らしさについて考えよう

◎自分以外の「その人らしさ」を見つけ、伝え合おう

- ① 「○○さんらしさカード」を書く。
- ② カードが書けたら、その友達にうら返してわたす。
- ③ 自分にもらったカードを読む。

◎感想

- ・自分の「よいところ」を新しく知ることができた。

発展的な展開例

	学習活動	◎指導上の留意点
展開 30分	<ol style="list-style-type: none"> 1 『心しなやかに』86～87ページを基に、「自分らしさ」を磨いていくことについて考える。 2 『心しなやかに』87ページの自分らしさを磨くために「のぼしたいところ」と「このようにして、のぼしたい」の欄にそれぞれ記入する。 3 4人グループになり、ほかの3人に向けて自分らしさを磨くために「のぼしたいところ」と「このようにして、のぼしたい」ことを発表する。 4 発表後、ほかの3人から、自分の「良いところ」をのぼす方法についてのアドバイスをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学級全体で行い、内容を板書する。 ◎ 『心しなやかに』87ページの「自分らしさをみがく=自分の『良いところ』をのぼしていくこと」という部分を全体で確認する。 ◎ 『心しなやかに』87ページには「先生や家族からのアドバイス」の欄もあるため、授業後に教師や家族がコメントを記入できるようにする。

互いの個性の理解

◆学習のねらい

自分の良いところ、友達の良いところを見付け、学級の一員としての自分に気付くとともに、全員の良いところを学級で生かしているとする態度を育てる。

◆評価

自分や他者の良いところに気付き、認め合い、助け合うことの大切さを理解している。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※保健における「心の発達に関する学習」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

- ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 小学校5・6年生版 心たくましく』
- ・「〇〇さんの良いところカード」

展開例

	学習活動（・児童の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 『心たくましく』94ページを読み、本時の学習を知る。	○ 自分らしさとは、自分のよさだけではなく、変えていきたいと思うところも含めて「自分らしさ」であることを伝える。
	もっとかがやく自分をめざそう。	
展開 30分	2 自分の良いところや自分の伸ばしたいところを考えて、『心たくましく』94～95ページに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 真面目なところ。 ・ すぐに怒ってしまうから、そこを直したい。 ・ 毎日、自分からすすんで勉強したい。 	○ 自分で見付けることができない児童や、迷っている児童には声を掛け、その児童の良いところを伝え、自信をもって記入できるようにする。
	3 4人グループになり、自分以外の3人のことを「〇〇さんの良いところカード」に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どんなことにも前向きに取り組んでいる。 ・ 誰にでも優しい。 	○ 自分以外の全員の良いところを一点以上考えられるように時間を確保する。 ○ 友達の良いところを見付けられない児童には、教師が例を示すなどして、友達の良いところに気付かせていくようにする。
	4 友達の紹介が書けたら、「〇〇さんの良いところカード」を一人ずつ渡す。	○ 学級の実態に応じて、カードに書いた内容を読んで渡してもよい。
まとめ 10分	5 本時の感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が見付けてくれた新しい自分らしさを知ることができた。 	○ 一人一人が、互いの良いところを認め合うことで、学級が楽しくなることや、行事が成功することなどに気付くことができるようにする。

板書例

もっとかかやく自分をめげなう

○自分らしさって何だろう

「心たくましく」より

「良いところ」も「変えたいと思うところ」も全部ふくめて、まるごと自分自身

○自分の良いところや、伸ばしたいところ

- ・真面目なところ。
- ・すぐに怒ってしまいうから、そこを直したい。
- ・毎日すすんで勉強するところ。

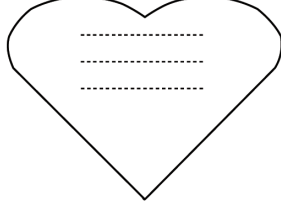
○自分以外の人の「良いところ」を見付け、伝え合おう

- ・どんなことにも前向きに取り組んでいる。
- ・だれにでも優しい。

○感想

- ・友達が見付けてくれた新しい自分らしさを知ることができた。

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開 25分	1 学級目標を達成するために生かすことができる自分の良いところやグループ内の友達の良いところについて「イメージカード」に記入する。	○ 友達の良いところについては、この後に協議するグループのメンバーについて書かせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級目標を達成するために</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>自分の良いところ 学級目標を達成するために、わたしは自分の良いところである（ ）を生かしていきます。</p> <p>友達の良いところ 学級目標を達成するために、〇〇さんの良いところである（ ）を生かしてほしいです。</p> </div>	
	2 グループになり、「学級目標」を達成するために生かすことができる自分の良いところ及び友達の良いところについて発表する。	○ グループのほかの人が考えた良いところを聞くことで、自分が気付いていなかった良いところにも着目させる。
3 友達から聞いた良いところも含め、学級目標を達成するために生かしていきたい自分の良いところについて改めて考える。	○ 様々な自分の良いところを生かしながら、学級の一員として学級目標を達成していこうとする意識をもたせる。	

資料等

() さんの良いところカード

名前 ()

互いの個性の理解

◆学習のねらい

良いところを伝え合う活動を通して、今まで気付かなかった自分の良いところに気づき、自分と友達の良いところを学級で生かしていこうとする心情を育てる。

◆評価

友達のその人らしさについて考えたり、自分の良いところを考えたりして、それぞれがもつ個性を認めることの大切さに気付いている。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※保健体育における「自己形成に関する学習」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

- ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 中学校版 心みつめて』
- ・ノート（ワークシートにしてもよい。）

展開例

	学習活動（・生徒の発言例）	○指導上の留意点
導入 15分	1 ウォーミングアップを行う。 2 本時の学習のねらいや方法を知る。	○ 深呼吸、座ったままのストレッチ等を行い、リラックスさせるとともに、「自分らしさ」を考える意味について伝える。 ○ 4人程度でグループを作っておく。 ○ ノートへの長所と短所の記入は、事前に済ませる。長所が書けない生徒には教師が助言しておく。
「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう。		
展開 25分	3 グループ内で2人組になり、ノートに書いた友達の長所と短所から、相手のその人らしさをまとめ、互いに読み合う。 4 相手のその人らしさについて自分との比較から伝える。 5 2人組を替えて、繰り返す。 ・ 自分はどちらかという早く物事を進めたいが、友達はじっくり考えて物事を進めたいことが分かった。	○ 長所は称賛し、短所は見方を変えれば長所となるという「リフレーミング」の考えを伝える。 ○ ノートに書かれていない長所に気付いていれば、相手に伝えるよう助言する。 ○ 授業の途中で友達が認めている長所について発表させる。 ○ 時間があれば、ほかのグループと交流させる。
まとめ 10分	6 ノートに感想を書き、発表する。 ・ 自分らしさを発見した気がする。 ・ 友達のその人らしさが分かる人になりたい。	○ 『心みつめて』135ページに「こうしたい」自分を書くことでもよい。 ○ 自尊感情や自己肯定感を高めることができるよう配慮する。

板書例

「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう。

○「自分らしさ」とは

『心みつめて』より

自分が嫌だと思っているところも、ちよつとした磨きを加えることで、光り輝く「自分の魅力」「自分らしさ」に変えることができるかもしれない。

※例えは

「意地っぱり」の自分は

芯の強さをもった「人から信頼される自分」になれる

○「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」について

- ・自分はどちらかというと早く物事を進めたいが、友達はずっくり考えて物事を進めたいことが分かった。
- ・自分と友達の「らしさ」は同じだと思っていたが、話してみると違うことが分かった。

○感想

- ・自分らしさを発見した気がする。
- ・友達のその人らしさが分かる人になりたい。

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開 25分	<p>1 4人グループになり、自分の短所をカードに一人3枚書く。</p> <p>2 自分以外の3人にカードを渡し、生徒それぞれが渡されたカードの裏面に短所を長所として見方を変えた内容を考え、書く。</p> <p>(例)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 60px;">おしゃべり</div> <div style="margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 60px;">人づきあいがよい</div> </div> <p>3 一人ずつ長所として見方を変えた内容を発表する。</p> <p>4 学習活動を振り返り、感想を発表し合う。</p>	<p>○ 見方を変えることが困難な生徒には、具体例を伝える。</p> <p>○ 見方を変えると長所になることに気付かせる。</p> <p>○ 自分では短所だと思っていたことも、人によっては長所と見ている場合もあることに気付かせる。</p>

資料等

○ノート (例) ※見開きで使う。面接などの自己アピール文として活用できる。

「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう

長所

○自分の長所 明るく、元気である。

○スポーツが大好きで、部活動に一生懸命取り組んでいる。

友達から

(○○より) △△さんは、毎朝、先生や友達に元気にあいさつしていますね。授業中も、よく発言して、積極的だと思います。

友達から

(○○より) △△さんは、部活動で、技が身に付くまで何度も練習していた。努力の成果だと思う。おどろきというけれど、細かいところを気にしないのは、良いところであるとも言えると思う。

短所

○おどろきである。

○あまり深く考えなくて、発言してしまうところがある。

友達から

(○○より) 話合いの司会をしていたとき、誰も発言しなくて困っていた。△△さんが、真っ先に発言してくれたので、次の人が言いやすくなった。すぐに発言できるのは、長所だと思う。

感想

互いの個性の理解

◆学習のねらい

友達のその人らしさを探すとともに、自分らしさを生かして地域や社会のために貢献していこうとする態度を育てる。

◆評価

地域活動に関心を持ち、自分らしさを生かして地域や社会に貢献しようとする意識を高めている。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※総合的な学習の時間や保健体育における「自己実現に関する学習」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

・ワークシート

展開例

	学習活動（・生徒の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。	
	「自分らしさ」と友達の「その人らしさ」を探そう。	
展開 40分	2 巨大地震の発生により、避難所となった学校で、自分やグループのメンバーの好きなことや得意なことを生かして、どのような活動をしてみたいかを考えて、ワークシートに記入する。	○ 「避難所」について資料に基づき説明する。または、避難所設営訓練について確認する。
	3 ワークシートに書いた内容をグループで発表し合い、その中からグループで取り組んでみたいものを一つ決める。	○ 役割分担では、「その人らしさ」に着目し、それを生かせる分担について考えることを伝える。
	4 決めた活動内容について、その活動に必要な役割と担当者を考える（例：絵本の読み聞かせをする、一緒に校（園）庭で遊ぶ）。	○ 避難所には乳児や幼児、高齢者もいることを指摘して、活動を想定しやすくする。
まとめ 5分	5 全体で発表し、意見や感想を交換する。 ・ 読書の好きな人が読み聞かせをするのは、適任だね。	○ 全体での発表を受けて、教師自身の感想や、どの役割も大切であることを伝える。
	6 今回の活動について考えたことを通して「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」について気付いたことを発表する。	○ 活動に見られるその人なりの視点の違いや感じ方の違いについて、気付くような説明を加える。
	7 本時の振り返りを行い、ワークシートに感想を記入する。	○ 自尊感情や自己肯定感を高めることができるよう配慮する。

板書例

- 「自分らしさ」と友達「その人らしさ」を探そう。
- 「自分らしさ」と友達「その人らしさ」
 - ↓ 様々な活動を通して表れる。
- 様々な地域活動(例)
 - ・ 地域で行う地域活動
 - ・ 生徒会で行う地域活動
 - ・ 部活動を通して行う地域活動
- 「避難所でできること」

どのような活動をしてみたいか

 - ・ 絵本の読み聞かせをする。
 - ・ 一緒に校庭で遊ぶ。
- 「自分らしさ」や友達「その人らしさ」について、気付いたこと
 - ・ それぞれ、自分の得意なことや、好きなことを生かして考えていた。
 - ・ 同じ地域活動でも、いろいろな活動が考えられていた。
- 活動の振り返り

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開 40分	<ol style="list-style-type: none"> 1 将来就きたい職業について、どのように自分の長所を生かしていくのか考える。 2 自分の短所を長所として見方を変えるためにどうすればよいのか考える。 3 グループ(3、4人)で、自分が考えた内容を発表し、ほかのメンバーから長所の生かし方や短所を長所として見方を変えるための方法等についてアドバイスをもらう。 4 アドバイスを基に、「自分らしさ」について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイスは肯定的な内容になるように事前に指導する。 ○ 長所を更に伸ばすことや、短所を補っていくことなど、自らの資質・能力を向上させるための方法は、各自異なり、多様な方法が考えられることに気付かせる。

資料等

<p>1 地域で行う地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者との交流体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭への招待 ・ 地域合同防災訓練 等 ○ 生徒会による地域への挨拶運動や地域清掃 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅や街角での挨拶 ・ 街路樹の落ち葉の清掃 等 	<p>3 部活動として</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動の一環で、地域貢献活動等に取り組む。 例) 運動部による近隣の中学生の技術指導 文化部の施設訪問による演奏会
<p>2 生徒会で行う地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会長・副会長が中心となって、自分の近隣の現状を踏まえて、自分たちでできるボランティア活動を考え、実施する。生徒会本部が中心となって生徒会長・副会長と話し合い、どんな活動ができるか検討する。 ○ 地域社会の一員としての存在を確認したり、達成感や充実感を味わったりすることにより、ボランティア活動への意識を高め、校内だけでなく地域における実践へと広げる。 	<p>4 活動内容と連携機関(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の健全育成を図る活動…保育園、児童館 等 ○ 地域安全活動…防犯協会、PTA 等 ○ 災害救助活動…消防署、消防団 等 ○ 町づくりの推進を図る活動…町内会、商店街 等 ○ 福祉等の増進を図る活動…福祉・医療施設 等 ○ 環境保全を図る活動…公園・港湾・森林事務所 等 ○ 文化・芸術・スポーツの振興を図る活動 …地域の小学校、中学校 等 ○ 社会教育の推進を図る活動…図書館、博物館 等

互いの個性の理解

◆学習のねらい

自分の良いところに気付くとともに、友達や周りの人の良いところを積極的に見つけようとする態度を育てる。

◆評価

自分や友達の良いところを見付けたり、知ろうとしたりしている。

◆教育課程における位置付け

特別活動

◆主な使用教材

・「いいね！カード（自分用、友達用）」

展開例

	学習活動（・児童・生徒の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。	
	自分と友達の「良いところ」を見つけよう。	
展開 40分	<p>2 自分にはどのような「良いところ」があるかを考え、「いいね！カード」に書く。</p> <p>3 「いいね！カード（自分用）」に書いた内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつも丁寧に挨拶をしている。 ・ 元気で、明るい。 <p>4 隣の友達の「良いところ」を見つけ、「いいね！カード（友達用）」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理整頓が上手で、いつも身の回りをきれいにしている。 ・ 分からないことを教えてくれる。 ・ 誰にでも優しい。 <p>5 「いいね！カード（友達用）」に書いた内容を発表する。</p> <p>6 隣の人にカードを渡す。</p> <p>7 ほかの友達の良いところをカードに書き、読んでから渡す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を書く等の表現が苦手な児童・生徒がいた場合、コミュニケーションツール等を活用する。 ○ ねらい・内容等を視覚的に示す。 ○ 教師が良いところの具体例を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習、運動、芸術面での特技や個性 ・ 明朗快活さ ・ 基本的な生活習慣 ・ 優しさ ・ 努力 ・ 責任感 ・ 創意工夫 (例) <ul style="list-style-type: none"> ・ 係の仕事を一生懸命やっている。 ・ 挨拶をきちんとしている。 ・ 部活動（クラブ活動）で頑張っている。 ・ いつも整理整頓がきちんとしてきている。等 ○ 発表が難しい児童・生徒は、教師が代わりに伝えるなど、全員で取り組めるようにする。 ○ 友達の良いところを挙げさせ、様々な見方があることや自分の良いところに気付いてくれている人がいることを理解させる。 ○ 文字が苦手な児童・生徒は、絵やシンボルなどで示してもよい。 ○ 係の仕事を頑張っている、字をきれいに書くなど例を挙げてよい。 ○ 発表された良いところを板書する。 ○ 発表した児童・生徒数より多く発表させる。 ○ 一人一人が、多くの良いところをもって伝える。 ○ T1は授業を進め、T2は児童・生徒支援を行う。
まとめ 5分	8 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が考える良いところと友達が伝えるその人の良いところを紹介させ、自分が気付いてなかった良いところに気付かせる。 ○ 一人一人の良いところなどに気付くことができるよう配慮する。

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

互いの個性の理解

望ましい人間関係の構築

規範意識の醸成

教員研修プログラム

いじめ問題への対応事例

保護者プログラム

地域プログラム

板書例

自分と友達の良いところを見付けよう。

○自分にはどのような良いところがあるのでしょうか。

たとえば

- ・ 係の仕事を一生懸命やっている。
- ・ 挨拶をきちんとしている。
- ・ 部活動（クラブ活動）で頑張っている。

○友達の良いところを見付けましょう。

- ・ 整理整頓が上手で、いつも身の回りをきれいにしている。
- ・ 分からないことを教えてくれる。
- ・ 誰にでも優しい。

○気付いたこと

↓みんな多くの良いところをもっている。

○振り返り

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開	1 付箋紙に友達の良いところを書く。	○ 付箋紙には自分の名前を必ず書くことを伝える。
	2 付箋紙に書いた内容を発表する。ほかの児童は伝えてもらった自分の良いところについてメモを取る。	○ 「○○さんが○○をしてくれて嬉しかった」というエピソード等があれば併せて発表する。
	3 付箋紙を台紙に貼り、友達に渡す。	○ 自分の良いところが視覚的に分かるよう工夫する。
	4 良いところを伝えてもらいどう感じたか、感想を言う。	○ 具体的に、誰のどのようなときの行動が良かったというエピソードを、児童・生徒から引き出すようにする。 ○ 伝えることが難しい児童・生徒には、教員が代わりに伝える等の支援をする。

資料等

○「いいね！カード（自分用）」（例）

自分と友達の良いところを見付けよう

いいね！ カード（自分用）

○「いいね！カード（友達用）」（例）

自分と友達の良いところを見付けよう

いいね！ カード（友達用）